

## 令和2年度予算案のイメージと主な新規取組

## 目指すところ

地域医療の最後の砦である公立病院として、市民が安心して暮らせるよう、経営の安定化を図りながら、十分かつ質の高い医療を提供する。

## R2予算案のイメージ

## R2の主な新規取組

## 収益

基準外一般会計繰入金

150百万円

基準内一般会計繰入金  
資本的収支・  
医業外収支等

1,125百万円

医業収益

10,234百万円

## 費用+黒字額

当年度資金収支  
61百万円資金不足比率10%  
回避を目的とした  
臨時かつ特例的措置

医業費用

11,448百万円

## 収益の増

## 医師の確保

産婦人科：医師3名の増 +2億5,500万円  
 神経内科：医師1名の増 新病床の設置 +5,300万円  
 精神科・総合内科・呼吸器内科：各1名の増  
 +1億8,300万円

## ふるさと納税を通じた新たな財源の確保

「さとふる」「ふるさとチョイス」等のふるさと納税  
 ポータルサイト活用による寄附金の獲得 1,000万円



## 夜間看護補助体制の整備による新規加算の取得

人材派遣を活用した体制整備 7,300万円

## 人材の育成と確保

## 看護学生への奨学金貸付

対象者：看護学校在籍の全生徒 20名/年  
 貸付額：5万円/月（当院勤務を条件に返済免除）

## 資格手当の創設

対象者：病院が定める医療系資格を有する医療職員等  
 手当額：月額3,000円～5,000円で検討中

## 資格取得支援

対象者：感染対策に係る認定看護師資格受験者  
 取得コスト：7か月で約150万円（学費・住居費等）

## ダヴィンチの更なる活用に向けた最先端医療の支援

腎臓、前立腺に加え、胃、肺、子宮や直腸等に適用が拡大された手術支援ロボットの活用に向けた医師のトレーニング支援やコメディカルの増員→最先端医療の強化

## 費用の削減

## 病棟再編による効率的な病棟運営

休床病棟：地域包括ケア病棟38床  
 削減内容：看護師19名 1億3,300万円の人件費削減  
 再編後想定病床利用率：89.2%

## 診療材料の共同購入の検討

共同購入組織：日本ホスピタルアライアンス  
 加盟病院数：264病院（108,336床）  
 うち自治体病院74病院（31,398床）

## 利便性の向上とPR強化

## コンビニ等の設置

目的：患者の利便性、夜勤職員の労働環境の向上  
 設置時期：令和3年上旬（予定）

## PayPay、LINEPay等2次元バーコード決済の開始

取扱開始時期：令和2年4月（予定）

## PR強化とイメージアップ戦略

- 「病院まつり」の継続開催
- 90周年記念事業の展開
- 市民広報誌を活用した幅広い年齢層へのPR強化
- 「利用者の声」に寄せられた“お褒めの言葉”の各診療科へのフィードバックと評価
- 他病院へのトップセールス強化
- 接遇意識の強化
- 入退院支援体制の強化
- ホームページの充実

